

全道家庭部会意見・体験発表大会 開催



発表・表彰の様子



<視聴した1年生の感想>

- 発表を聞いて、色々なことに挑戦してみようと思った。色々やってみることで今の自分から変わるものがあるかもしれないと考えることができた。もっと人と関わって、色々なことを体験して成長していきたいと思った。
- 7分という時間を有効活用して伝えたいことをわかりやすく、聞き手が想像しやすいようにしようという気持ちが伝わってきました。
- 言葉に思いが詰まっていて、とても心を動かされて感動しました。やりたいことのために色々なことに挑戦していて、やりたいことに向かって全力なのが伝わり、素晴らしいと思った。
- 同じ学校学科の先輩の発表を聞いて良かったし、よりファッションについて興味を持った。
- 同じ学科だからこそ、色々な話が参考になったし、一歩踏み出す勇気を学ぶことができた。

9月19日(金)、本校にて第13回北海道高等学校長協会家庭部会意見・体験発表大会が行われました。意見・体験発表大会は、家庭科の学びを通じた自己の成長を発表する場です。今年度は置戸・剣淵・三笠など全道から7名の応募があり、置戸高校の生徒さんが最優秀賞となりました。本校からは2年G組長峰千明さんが「ランウェイで見つけた新しい私」という発表題で参加し、優秀賞を受賞しました。ファッションショーに出るという経験から新しい自分を発見し、そこからたくさんのことに前向きに頑張っているという内容でした。

また、当日は1・2年生の家庭クラブ役員が運営にあたり、大会や参加者交流会をスムーズに進行し、生活デザイン科1年生が会場にて発表を視聴しました。1年生にとっても、夢に向かって努力している他校の生徒の発表を実際に聞くことができ、貴重な機会となりました。



運営にあたった家庭クラブ2年生と発表者の長峰さん